

教科の目標と指導の重点

都立西高等学校

本校では、幅広い教養を身に付けるために多くの教科・科目を学ばせ、基礎・基本を重視した日々の授業を行っている。各教科において、以下のような様々な取組みを行い、第一志望校への進路実現を図っている。

教科	教科の目標	重点課題	取組	発展的取組
国語	I 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	論理的な思考に基づいた記述力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○観点別評価の適切な運用により、個々の生徒の課題の把握と指導に還元 ○継続的な要約の作成課題と指導、定期考査における記述問題の設定により、基礎的な記述力を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートなどのICTツールを活用した双方向における記述指導の取り組み ○実力考査における実践的記述問題により、より高度かつ抽象的な思考の表現と言語化に堪える記述力を育成
	II 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。			
	III 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			
地理歴史	I 日本と世界の形成の歴史的過程と文化の特色についての理解を深める。	習得した基礎的な知識・技能を活用させた思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○基礎的な知識・技能を取得するための補助教材や自学用の補助プリントを活用 ○思考力・判断力・表現力を育むために、ICTを活用した課題やプレゼンテーションを実施 ○地理的・歴史的な見方・考え方を身につけるために、論理的に考察する活動を重視した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的で深い学びを実践するために、自学用論述課題及び生徒同士による添削を実施 ○社会で求められる資質・能力を育むために、定期考査において英文資料や長文論述問題を出題
	II 諸地域世界の歴史と交流の大きな流れを理解し、歴史的思考力を培い、それを的確に発信できる表現力を養う。			
	III 日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することについての自覚を深める。			
公民	I 倫理、政治、経済などに関する基礎的な概念、理論、課題を知り、資料を調べ、まとめる技能を身に付ける。	習得した基礎的な知識・技能を活用させた思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○基礎的な知識の習得から、習得した知識を活用して社会科学の基礎となる論理的思考を涵養し、文章や発表で自らの考えを表現し、異なる他者と合意を形成できる力を育成 ○3分間スピーチや調査報告、ディベートやビブリオバトル、日経STOCKリーグや株式学習ゲームによる金融経済教育など、主体的対話的で深い学びを実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○高大接続を意識し、大学での学びの基礎となる思考力・判断力・表現力の涵養 ○定期考査や実力考査において論述問題を解かせたり、レポートや論文を書かせたりすることで、論理的な文章が書ける学力を育成
	II 多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論する力を養う。			
	III 課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに人間としての生き方あり方についての自覚を深める。			
数学	I 基本的な概念や原理・法則等を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈・表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学的活動を通して、数学的に考察する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ○教員と生徒、生徒同士のやり取りを重視した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートやTeamsなどのICTツールを活用し、生徒が数学的な考えを深めることができる授業
	II 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
	III 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。			
理科	I 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	より探究的な学びを取り入れた授業	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○生徒が自ら学び、自ら課題解決できる能力を身につけることができる授業を構築 ○生徒自らが探究的な学びができるよう、実験実習内容を精選し、また実験レポートにグラフの作成などを多く取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○高大連携につながる発展的な内容や実験を取り入れ、生徒自ら考え学ぶ力を向上 ○各種大会等への参加支援（科学の甲子園東京都大会など）
	II 自然の事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			
	III 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
外国語(英語)	I 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。	バランスの取れた英語4技能と論理的思考力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に担当教員相互で評価基準を確認し、系統的な指導を行うための指導計画を共有 ○外国人講師（JET、ALT）とのTTによる英語ディベート活動の実施 ○年間5回のスピーキングテストを実施 ○オンライン英会話にてディスカッション、ディベート活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーキングテストを評価するためのルーブリックの開発・活用 ○各種大会等への参加支援（首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会、英作文コンテスト、スピーチコンテストなど） ○検定試験などの案内周知
	II 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする。			
	III 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。			

※教科の目標：I 知識及び技能、II 思考力・判断力・表現力等、III 学びに向かう力・人間性等